

7/18~8/30

「藤沢レオ きのうと違う島」 洞爺湖芸術館夏特別展開催

洞 爺湖芸術館夏特別展「藤沢レオ きのうと違う島」が開催されました。藤沢レオさんは洞爺湖町出身の彫刻家で町内での作品展開催は初めてです。初日の18日には、オープニングセレモニーが行われ、真屋町長や大西議長、藤沢さんがあいさつ。その後、テープカットを行いました。作品を出展した藤沢さんは「生まれ故郷で作品展を開催するありがたい機会をいただき、嬉しいです」と話しました。



夏特別展のオープニングセレモニーで行われたテープカット

6/25

コンサドーレをサポート 「洞爺の水」をコンサドーレへ寄贈

町 は「スポーツ観光推進に関する相互交流・支援に関する協定」を結んでいる株式会社北海道フットボールクラブ「コンサドーレ札幌」のトップチームに「洞爺の水」4,800本を寄贈しました。本来はピッチで贈呈式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。コンサドーレトップチームの福森晃斗選手は「おいしいお水をこんなに頂き嬉しく思います」と感謝していました。



洞爺の水を持つ
福森晃斗選手
©2020 CONSADOLE

7/29

当時の生活を物語る タイプライター・蓄音機寄贈

佐 長邦愛さん（洞第1）から郷土資料の寄贈を受けました。寄贈を受けたのは電信和文タイプライター1台と電気式蓄音機1台で、今後洞爺郷土資料室で展示します。電信和文タイプライターは、主に電報の印刷に使うもので、寄贈を受けたタイプライターは、黒澤通信工業株式会社で昭和34年に製造され、洞爺郵便局で使用されていました。蓄音機についてはメーカー名などの記載が無く、詳細は不明です。



寄贈されたタイプライター



寄贈された蓄音機

7/30・8/5

永遠の平和を誓う 令和2年度洞爺湖町戦没者追悼式

令 和2年度の戦没者追悼式が、洞爺地区と虻田地区で行われ、戦没者の冥福を祈りました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、追悼式の内容を縮小して実施。虻田地区では関係者7人が参列し、真屋町長は「壮絶な歴史を風化させることなく、若い世代にも確実に語り継ぎ、平和な社会への実現に向けて積極的に取り組みます」と式辞を読み上げた後、献花が行われました。



式辞を読みあげる真屋町長

8/2 ~ 8/18

ホタテ風鈴で夏を感じる ホタテ風鈴と園児の短冊設置

蛇 田神社の本殿に続く階段の手すりにホタテの貝殻を使った風鈴と町内の入江・本町・桜ヶ丘保育所、とうや湖幼稚園の子どもたちの願いが書かれた短冊が設置されました。

ホタテ風鈴と短冊の設置は今年初めて実施。ホタテの貝殻は末広がりの形で縁起が良いとされています。

4日には短冊づくりに協力した本町保育所の子どもたちが同神社を訪れ、自分が書いた短冊を見つけ喜んでいました。



自分たちが書いた短冊を見つめる本町保育所児童

7/31

洞爺湖ロータリークラブ地域緑化プロジェクト センターパークゴルフ場に藤棚寄贈

洞 爺湖ロータリークラブ（RC、三浦潤介会長）は、地域緑化プロジェクトの一環で整備したセンターパークゴルフ場の藤棚を町に寄贈しました。

当日は、三浦会長を含めた3人の会員が町長室で改修の経緯を報告し、目録の手交を実施。

同RCは老朽化した藤棚を撤去し、幅約5メートル、奥行き4メートル、高さ2・5メートルの大きさを新しく建て直しました。三浦会長は「シーズンになったらぜひ見に来てほしい」と話しました。



センターパークゴルフ場に寄贈された藤棚

8/16 ~ 8/17

新型コロナウイルス感染症の終息を願う 蛇田神社例大祭

毎 年多くの参拝者でにぎわう蛇田神社例大祭ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、ステージの余興や露店、神輿渡御などは中止とし、16日の宵宮祭、17日の神事のみ行われました。

17日の神事には同神社の責任役員4人が参加。野々村國男宮司は「いつもにぎわいがある例大祭ですが、今回はコロナの影響でこのような開催となり、残念です。1日も早く収まるよう祈念しました」と話しました。



厳粛に執り行われた神事

8/8

洞爺湖温泉の繁栄と安全を願う 湯前薬師如来供養例大祭実施

薬 師の日に「湯前薬師如来供養例大祭」（湯前薬師如来奉賛会主催、朝倉英隆会長）が足湯ポケットパークで行われました。

例年は「薬師の日湯かたまつり」として行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から規模を縮小し、法要のみを実施。

法要は約20人が参列し、新型コロナウイルス感染症の終息や洞爺湖温泉の繁栄と安全を一人ひとりが祈願しました。



地域の繁栄を願い焼香する朝倉会長